

明日を つむぐ



特集 P4・5

事業所の^{しゅん}旬を^{とど}届けます

No.1 あしたの家

CONTENT

| | |
|------------|----|
| 2026年度事業計画 | P2 |
| 辞令交付式の報告 | P6 |
| 避難訓練の報告 | P6 |
| ともに育つ会から | P8 |

発行：社会福祉法人みなと福祉会
〒455-0803
愛知県名古屋市港区入場1丁目114番地1
TEL.052-355-8000
FAX.052-355-8008

みなと福祉会 検索



2026年度 みなと福祉会 事業計画

Ⅲ あらたな組織体制を確立するとともに、勤怠管理等のICT化をすすめていく。
Ⅳ 地域とのつながりを模索していく。また情報の発信力をつよめる。

【実践・支援の計画】

- 1 働くことを支援し賃金アップをめざします。
- 2 利用者ひとりひとりが活躍できる場をつくりまします。
- 3 地域の行事や事業所商品を媒体にして地域の方たちとの交流、つながりをつくりまします。
- 4 医療機関などとの連携をもとに、ライブステージにあつた過ごし方を模索します。
- 5 放課後等デイサービスでは、様々な行事やあそび等とおしての交流と情報の発信をすすめます。
- 6 利用者への虐待や不適切な支援をなくし、利用者の尊厳をまもります。
- 7 利用者の自治活動を大切にして、支援や運営に意見を反映していきます。
- 8 グループホーム入居者の高齢化の中で、本人や家族等の意向をもとにとりくみをすすめていきます。
- 9 居宅事業所では、支援の枠を広げられるよう努力をつづけていきます。
- 10 短期入所事業については、受入れがすすんでいくよう準備をすすめます。
- 11 相談支援事業については、地域の事業者や行政機関と連携しつつ地域に根ざした相談支援をすすめます。

2026年度は、次年度からの報酬改定の議論が本格化する年です。6月からの臨時改定のごきみみると、これまでの予算の伸びと、いわゆる収支差率等を根拠にしたきびしい見直しが予想されます。

ひきつづく物価高の中でも事業所が安定して運営できるよう、また最も深刻な状況となっている職員の確保がはかられるよう報酬制度の充実こそとめられています。

利用者のみなさんへの支援を充実させていくこととも関係するみなさんと力をあわせ、公的福祉を拡充させるとりくみに力を尽くしていきます。

【法人重点計画】

1 事業の継続と発展の基礎となる職員の確保と育成、定着をすすめる。

2 利用者のねがいにそつたとりくみをすすめる支援の向上をはかる。



【職員の確保と研修・労働条件改善の計画】

- 1 採用委員会を中心にみなと福祉会の魅力を発信して「人材確保」に最大限の努力をしていきます。
- 2 職員ひとりひとりの成長のねがいを後押しするため、見学研修や外部研修について強化をはかります。
- 3 安全衛生委員会を定期化し、健康で長く働きつづけられるよう働き方の改善をすすめます。
- 4 利用者の確保や制度の活用などによる財源の確保につとめ、賃金等の改善をすすめます。

【組織体制・運営・経営の計画】

1 事業所の継続と発展の土台となる若手職員の管理部門への登用と、サービス管理責任者研修等への参加と受講をすすめます。

2 各拠点の情報を一元的に管理し事業所間での情報共有をスムーズにすすめます。

また勤怠管理のデジタル化をすすめる業務負担の軽減をはかります。
3 南海トラフ地震への対策をすすめる、万一の事態での被害を少なくし、業務の継続ができるよう具体的な準備をすすめます。
4 法人本部体制の充実と確立をはかります。
5 中期計画を早期に策定するとともに、計画が確実に実行されるよう定期的な点検をしていきます。

【家族・地域・共同・運動】

- 1 家族の方たちと定期的な事業所懇談会等をおし、協力と信頼の関係を深めていきます。
- 2 地域とのつながりを大切に、障害のある人やみなと福祉会と事業所の理解をひろげていきます。
- 3 障害のある人の現状を改善していくために、きょうさんや障全協等の活動に利用者、家族とともに参加し公的福祉の拡充をめざします。
(法人事務局)



仲間の笑顔 みつけた! Vol.19

みなさん よろしく

うるじの家
森川 聡さん



皆さん、こんにちは。僕は森川聡です。

うるじの家のミラクルファームグループで働いています。

今は、いろいろな作業を頑張っています。特に好きな作業は、ゴム製品やアメニティ商品の数を数えることです。朝の会で確認した作業以外のことを頼まれると、不安になってしまうけど、数かぞえの仕事は別。すぐに準備を始めて、取り組むことができますよ。

仕事をやり終えると、なかまや職員さんみんなから「がんばったね」といわれることがうれしくて、笑顔になるんだ。

好きなことは音楽を聴くことです。ミュージックケアでは、音楽にのせて楽器を鳴らしたり体を動かす活動だけど、大好きな曲「恋するフォーチュンクッキー」をリクエスとして楽しく過ごすんだ。

→森川さんの気持ちになって自己

紹介を考えてみました。

以前はゴムのバリ取りとはしの袋入れや箱入れをずっと取り組んでいましたが、ホテルで使用するアメニティグッズのセッティングの作業に取り組むことで作業種の幅が広がりました。今では8種類以上の仕事を担って、さらに新しい仕事にもチャレンジしています。普段の表情も自信にあふれた顔になっています。



職員紹介

みなと わたし

Vol.19

しおかぜ作業所
幅 美穂さん



Q みなと福祉会に入職したきっかけは何ですか？

長年高齢者施設で介護福祉士として働き、他のことにもチャレンジしてみたいという思いから障害者福祉を考えるようになりました。その中で、地域との関わりを大切にして弁当を配達している、しおかぜ作業所に魅力を感じ入職しました。

Q 今どんな仕事をしていますか？

洗浄グループの担当職員として仲間たちの支援を行っています。洗浄の仕事以外に弁当配達にも出ており、今は弁当出しや他の弁当配達を覚えているところです。他グループの仲間と関わることを楽しみにしています。

Q 仕事をしていて嬉しいことは？

仲間たちと関わっていく中で出来なかったことが出来るようになった時、その喜びと一緒に味わえる時が嬉しいです。

Q 休日は何をして過ごしていますか？

愛犬との散歩、家族でキャンプや釣りに出かけたりします。

家族で出かける時はアクティブに、でもひとりの時は愛犬、愛猫とまったりしています。癒しですね。

Q 今後の抱負や目標はありますか？

入職して2年目になります。まだまだ経験も浅く仲間たちの接し方で悩むことがたくさんありますが、ニーズに寄り添った支援ができるようにコミュニケーションを大切に、より信頼関係が築けるように日々を過ごしていきたいです。

～あしたの家の仲間が 楽しみにしている 時間・活動のご紹介～

創作・クッキング

役割分担をして楽しく作ったおやつは
とてもおいしくみんなが笑顔になります。



昼食

栄養バランスがとれて、季節の行事に
ちなんだメニューもでてくる
昼食の時間はみんなが大好きな時間です。



入浴

この4月から定期的な入浴支援が再開しました。
心も身体もリラックスできる時間にしていきます。





外出

季節を感じられる公園やイベントでの外出企画などグループごとの外出の取り組みがあります。



けんこう体操・ミュージックケア

講師や職員によるミュージックケアや、理学療法士の講師にきていただいているけんこう体操など、身体を使って楽しく過ごせる取り組みを大切にしています。



南海トラフ地震に備えて 避難訓練をおこないました



みなとホーム

先日、みなとホームにおいて津波を想定した避難訓練を行いました。茶屋北ホームでは、ホームから南陽東中学校までヘルメットと救命胴衣を着用し「徒歩で移動する」実践的な内容で行いました。

避難時は歩くのに支障のない仲間や車いすを使用している仲間、職員の付き添いが必要な仲間もあり、一塊になって移動することが難しく感じましたが避難場所まで無事に到着しました。職員間の連携や仲間への配慮を考える良い機会になりました。

今後不測の事態に備え、仲間の安全を最優先に守れる体制づくりと訓練を継続していきます。



ナゼなみ



災害に備えて避難訓練を行いました。今回は地震、津波を想定し職員と一緒に避難の流れや本部屋上までの移動を確認しました。子どもたちは職員の声にしっかりと耳を傾け、落ち着いて行動することができました。実際に体験してみることが、「もしも」のときにどう動くかをみんなで考える良い機会となりました。今回の訓練で気づいた点は職員間で共有し、今後の対応に活かしていきます。これからは安心して過ごせる環境づくりのため、定期的な訓練を実施していきます。

新人職員 を迎えて

辞令交付式を開催

今年度、みなと福祉会では2名の新入職員を迎え4月1日に辞令交付式を行いました。仲間の手作りの看板でお出迎え。緊張した面持ちの2名の新入職員がみなと福祉会の門をくぐりました。

まず理事長から、おふたりへの歓迎と自分らしさを大切に仕事に向かってほしいと激励のあいさつがありました。その後、家族の代表の方からのあいさつがありました。「自

分の娘は、職員が辞めてしまうとても不安定になります。どうか、おふたりは、仲間たちの言葉にならない気持ちに寄り添って長く働き続けてください」と語りかけてくれました。そして今回は、2名の仲間が代表で参加。それぞれ「これからがんばってください」「よろしくお願ひします」と力強くあいさつし、仲間のみなさんで作ったクリアファイルを手渡しました。新入職員のおふたりからもフレッシュな決意がありました。

その後、新しく所長・副所長・副主任となった職員の方々にも辞令をお渡ししました。業務の都合で辞令式に参加できなかった新所長・新副主任の方もいましたが、世代交代が進む管理職集団にも新たな風が吹くことを期待します。

最後に参加者全員で記念撮影。魔法のかけ声で、笑顔いっぱいの写真になりました。仲間・家族と一緒にみなと福祉会らしい辞令式になり、とてもあたたかい気持ちになりました。力をあわせて新しい一年をがんばっていきましょう！（河辺 恵）





「おやさい。ぼしえつと」

始動しました！

2月から仲間2名がスープ事業（おやさいぼしえつと）のメンバーとして野菜の下処理を行っています。

まずは「にんじんの皮むき」からはじめはひとつひとつ丁寧に、慎重に、じっくり時間をかけて皮を剥いていました。それから2か月、今ではまるで職人のような手つきで素早く皮むきをすることができるようになりました。

「すごいー！かっこいいー！」と伝えると、「自分でもできるように頑張ろう」と満面の笑みで何度も何度も教えられました。自分の成長を実感しキラキラ輝く仲間の姿を見て、「このスープを仲間、職員が誇れる商品にしたい！」と職員も決意を新たにしました。

現在は皮むきだけでなく、野菜ペーストづくりや真空パックの作業も仲間が携わっています。お披露目まであと少し…試行錯誤を繰り返しながら頑張っています。



車両の購入 お礼



日本財団様 ありがとうございます。 さざなみ

日本財団様より車両助成決定を受けて日産自動車のセレナが納車となりました。職員も子どもたちもピカピカの車に大興奮でした♪さざなみでは、車ごとに愛称をつけて呼んでいるのですが、新しいセレナは、さざなみで設立当初使っていた車の名前を受け継いで『さざなみ号』と名付けました！

子どもたちもすぐに覚えて呼んでくれています。さざなみでは、学校や自宅の送迎、長期休暇や土曜開所の際には、車に乗る機会が多いので、これから子どもたちを楽しい場所まで運んでくれるのを期待しています。

編集後記

新年度を迎え、各事業所が新たな一歩を踏み出しました。広報委員会においても委員長の交代をはじめとした大きな変化があり、気持ちも新たにスタートを切っています。先日行われた今年度初の編集会議では、年間を通した大まかな方針が定まり、どのような広報をお届けしていくかの方向性を共有することができました。まだ試行錯誤の部分もありますが、皆さんにとって身近で親しみやすい会報づくりを目指して取り組んでまいります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

(イルカ作業所 柴田貴大)

2026年度 新役員・管理者の紹介

※新任・異動者のみ

- 理事長 ————— 石川 修
- 常務理事 ————— 久野 賢一(新)
- 事務長 ————— 河辺 恵(新)
- あしたの家管理者 ——— 鯉江 嘉道(新)
- ネットワークみなど管理者 — 稲垣 順平(異動)
- みなとホーム管理者 ——— 眞鍋 道子(異動)
- みなとホーム管理者 ——— 坪谷 雄介(新)

どうぞよろしくおねがいします。

ともに育つ会 ニュース



港区障害者(児)とともに育つ会
〒455-0803 港区入場1-114-1
TEL(052)355-8000

2026年 青葉号

春の学習・交流会

おこないました

5月14日(木)午前、名古屋市南陽交流プラザ会議室において、春の学習・交流会を開催しました。テーマは「私(親)がいなくなったら：わが子(仲間)を誰かに託すために(Part2)」。講師に、NPO法人成年後見もやいスタッフの竹原正明さんを招いておこないました。当日は、家族・職員あわせ37名の参加がありました。

前半は、竹原さんから成年後見制度の概要の説明、成年後見もやいが受任したケースと後見制度を利用して良かったという声の紹介、そして現在すすめられている新しい成年後見制度のうごきなどをお話いただきました。

後半は、グループに分かれて、わが子(兄弟)についての医療や相続などについて心配なこと、考えてい



ることを交流しました。その中には、「兄弟に話したいと思っているが遠方に住んでいるのでどうしようか迷っている」「兄弟にも本人の生活があるので、おねがいしているか悩んでいる」など率直な声が聞かれました。「医療面などで、ただでさえ障害のためにお金が必要なのに、さらに出費となるのは困る」など費用面の心配も出されていました。また、「手術の時など後見人が同意してもらえるのか」「申立てをしてからのくらいで決まるのか」などの質問も出され、竹原さんから丁寧に答えていただきました。

みんなで学び、それぞれの声を交流し共感や新しい気づきをたくさん得られた、あたたかな会になりました。

(ともに育つ会 事務局)

愛知県障害者(児)の生活と権利を守る連絡協議会 総会が開催されました

4月29日(水・祝)午後1時より、あいち障害者センター(もやい)にて第52回総会が開催され、ともに育つ会として参加してきました。梅尾会長の開会の挨拶の中で、当初21世紀がこれほど国際秩序と法の支配がないがしるにされる事態は誰も予想できなかった。今、ウクライナやガザ、イランで大国による侵略が公然と行われ、平和を巡る情勢が一段と厳しさを増す中、高市政権は殺傷兵器の輸出を解禁するなど、戦争する国へと邁進しています。改めて平和を守り、障害者を含むひとりひとりの人権を守ることの重要性を総会参加者全員で確認しました。

その後、2025年度の活動報告、決算、2026年度の方針、予算を提案し、全会一致で承認されました。会長には梅尾朱美氏を再選しました。愛障協も今年度で結成50周年です。これまでの運動を振り返り、記録し、今後運動を継承していく為にも、記念誌の作成を計画しています。愛障協も役員の高齢化と、各団体の結集の低下、賛助会員、カンパの減少、財政の縮小等が課題となる中、行政交渉等で歴史と実績のある愛障協の継承と発展の為に、各団体が力を結集する事の大切さを実感した総会でした。

(ともに育つ会 事務局 久野賢一)



「GOふくし〜 見る・知る・聞く・見こかる〜」

(主催：名古屋西ブロック自立支援連絡協会)

参加のご案内

- ・近隣の事業所の紹介がいっしょにおこなわれます。
- みなと福祉会の事業所も出展します。

日時：6月27日(土)
10:30～14:30

会場：名古屋港湾会館
2・3階会議室

ぜひお出かけください。